

野外に分布する食品害虫ノシメダラメイガ ー性フェロモントラップを用いた調査ー

研究の目的

重要な食品害虫であるノシメダラメイガの食品貯蔵庫・工場、一般家屋内部への野外からの侵入の可能性を評価するために、性フェロモントラップを用いて野外での捕獲数を調査した。

研究の内容

つくば市において2011年8月から10月までの2ヶ月間、マンション3Fの2カ所のベランダと玄関入口に性フェロモントラップを設置し、ノシメダラメイガの捕獲数を毎日記録した。8月の中旬では、毎日10頭前後／トラップが捕獲され、野外でノシメダラメイガが多数発生していることが分かった。このことは、食品貯蔵庫、一般家屋に対して、野外から侵入する可能性があることを示している。

野外におけるノシメダラメイガの発生源は不明であり、今後の調査が必要である。

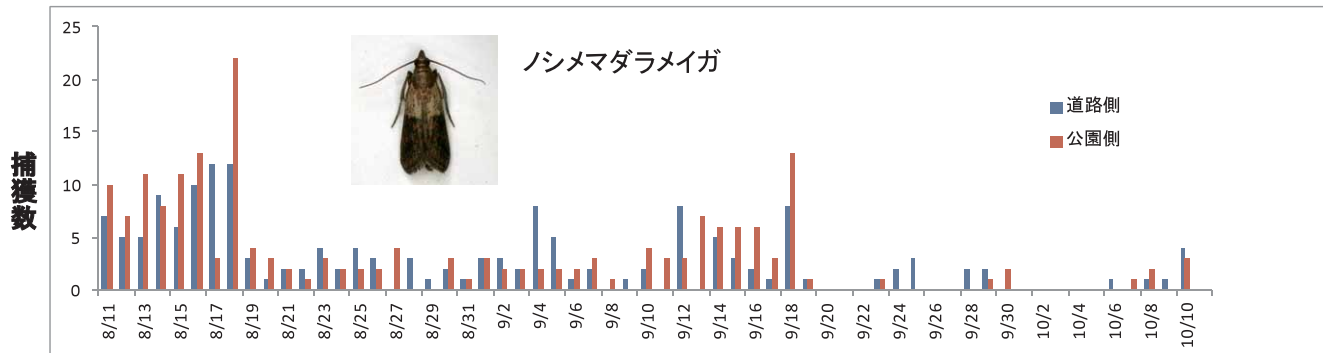


ノシメダラメイガ捕獲用性フェロモントラップ
左:捕獲状況 右:トラップ外観

マンションベランダとその近隣公園に設置した性フェロモントラップへのノシメダラメイガの捕獲数

調査日(2011年)	道路側(3F)	公園側(3F)	玄関入口(3F)	公園東屋	調査日合計
8/11	7	10	5	*	22
8/12	5	7	1	0	13
8/13	5	11	10	0	26
8/14	9	8	7	0	24
8/15	6	11	5	0	22
8/16	10	13	4	0	27
8/17	12	3	9	0	24
8/18	12	22	8	0	42
合計	66	85	49	0	200
平均/日	8.5	10.6	6.1	0	25

*未調査



マンション3Fベランダにおけるノシメダラメイガの成虫捕獲数の経時的変化 (8/11-10/11)



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 宮ノ下明大
所 属: 食品安全研究領域
食品害虫ユニット

問合わせ先: 029-838-8081 akihirom@affrc.go.jp